

日本災害・防災考古学会

第3回総会・研究会 両日オンライン開催

2024年9月28日(土)・29日(日)

1日目「特集 令和6年能登半島地震と災害対応の実践」

2日目 災害・防災考古学に関する一般発表

※総会・研究会の参加には、当会
への加入が必要です(裏面参照)。



HP QR



FaceBook QR



本会は、あらゆる自然災害や人為災害について、各分野の情報交換により、防災に寄与することを目的とする学会です。当会への入会・参加をお待ちしております。

写真:2024年3月18日撮影 石川県輪島市 朝市通り周辺火災跡

入会の御案内

当会の目的

本会は、地震・津波・火山ほかあらゆる自然災害ならびに火災・戦災など人為災害とそれに関連する諸現象・諸問題に関し、遺跡の発掘調査成果等を通してその実態を明らかにし、考古学および歴史学・理学・工学・防災科学ほか、研究の相互の情報交換により、今防災に寄与することを目的とする。(会則第2条)

加入資格

当会の趣旨に賛同される方は、どなたでも会員になることができます。

会費

無料です。ただし、研究会等開催の際には発表者から経費を徴収することがあります。

事業

本会は、次の事業を行います。

- (1) 研究会、講演会等
- (2) 会誌(ニュース・レター)ほか出版物の刊行
- (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業

加入申し込み

- (1) 会員は、メールなどのネット環境が必要です。
- (2) 年会費はありません。
- (3) 「入会希望」と明記し、下記を記載の上、事務局までメール(j.saigai.net@gmail.com)にてお申し込みください。

1. 氏名
2. 所属
3. 住所
4. メールアドレス

第3回総会・研究会

9月28日(土)

11:00 ~ 12:00 総会
12:00 ~ 13:00 休憩

【研究会①】特集 令和6年能登半島地震と災害対応の実践

- 13:00 ~ 13:05 開会の挨拶
13:05 ~ 13:10 趣旨説明 相原 淳一
13:10 ~ 13:50 発表① 「能登半島地震に関わる石川考古学研究会の取り組み」 河村 好光
13:55 ~ 14:35 発表② 「令和6年能登半島地震津波堆積物の現地調査と珪藻分析
-石川県能登町白丸地区・珠洲市飯田町採取試料から-」
野口 真利江、相原 淳一、吾妻 俊典
14:40 ~ 15:20 発表③ 「新潟平野における地震痕跡-液状化跡を検出した遺跡の立地-」
加藤 学
15:20 ~ 15:30 休憩
15:30 ~ 16:10 発表④ 「熊本城の被災と復旧・防災の取り組み」 嘉村 哲也
16:15 ~ 16:55 発表⑤ 「仙台城本丸石垣の地震被災と伝統的な土木技術」 金森 安孝
17:00 ~ 17:40 発表⑥ 「災害時の文化財保護」 渡辺 伸行
17:45 ~ 18:15 各発表者による意見交換(フリーディスカッション)

9月29日(日)

【研究会②】災害・防災考古学に関する一般発表

- 9:05 ~ 9:45 発表⑦ 「気候変動・自然災害から見た、北海道の原始・古代」 宮塚 義人
9:50 ~ 10:30 発表⑧ 「「弥生の小海退」を捉えなおす-氷河性海水準変動要因説の年代学的再検討-」
久我谷 溪太
10:35 ~ 11:15 発表⑨ 「仙台平野における弥生津波伝承と古墳前期首長墳の築造位置」 斎野 裕彦
11:20 ~ 12:00 発表⑩ 「考古学からみた箱館戦争」 石井 淳平
12:00 ~ 13:00 休憩
13:00 ~ 13:40 発表⑪ 「大阪府北河内地域の災害痕跡・記録と『浸水日誌』」 實盛 良彦、田中 香里
13:45 ~ 14:25 発表⑫ 「新北上川河口低地における歴史時代の津波堆積物の探索」 菅原 大助
14:30 ~ 15:10 発表⑬ 「南太平洋島嶼域における古津波調査」
後藤 和久、James Goff、石澤 勧史、中田 光紀、笠井 克己
15:10 ~ 15:20 休憩
15:20 ~ 16:00 発表⑭ 「白頭山ミレニアム噴火が古代日本の歴史に与えた影響」 谷口 宏充
16:05 ~ 16:45 発表⑮ 「考古学見地から見た災害遺構の保全・活用の現状と課題」 林原 利明
16:50 ~ 16:55 閉会の挨拶